

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 22日

事業所名 鈴鹿市第2療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年のお子様であること、1部屋に6人程度に抑えてあるため、物理的に無理がないようにしてあります。 ・小学生のお子様を受け入れるとなると、療育室は少し狭いです。 ・居室のスペースに合った活動を工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策も含め、利用児数に合わせて、部屋数(1部屋か2部屋)を変更して、活動スペースの確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切である	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用児数及び状況にあった職員配置となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な療育活動・訓練活動が行うことが可能な職員配置を維持していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動以外での空間の中でどうしても設備的に廊下等に設置してあるため、怪我が起きないように物理的配慮及び口頭による説明は行っています。 ・季節によって、室内外の温度差が大きいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の保護者様向け評価アンケートからも、悪天候時に、雨や雪が通路テラスに降り込んでいたため、11月に雨よけシートを通路テラスに設置させていただき、安全対策を講じました。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント、計画、モニタリング、評価と計画時期に応じたことだけでなく、タイムリーに職員を配置し、検討しています ・現状の仕事の確認を先輩方がいただけており、一人では回せないところを協力をいただき実施しています。 ・療育活動ごとに、ミーティング(事前・振り返り)の時間をとっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育活動ごとに、ミーティング(事前・振り返り)の時間を作り、当日の活動目標・内容の把握や次回療育活動に向けての活動改善につなげてます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様向け評価アンケート実施後、アンケート結果を職員会議にて報告し、改善に向けての協議・改善を実施しています。 ・評価表を基に懸念事項についての話し合いがなされているかは疑問。検討する時間を設けていく必要があります。 ・評価表を見ておらず、意見意向の吸い上げができていません。積極的に見に行く必要があります。 ・保護者様等の意向等を把握しきれているか、また業務改善に繋がっているかは疑問に残るところがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様向け評価アンケート実施後、アンケート結果を職員会議にて報告し、改善に向けての協議・改善を実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・法人(鈴鹿市社会福祉協議会)のホームページ内にて、事業所向け自己評価及び保護者様向け自己評価表について公開しています。 ・事業所の掲示板に張り出しはしていますが、実際に保護者様が見ている姿は見受けられません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人(鈴鹿市社会福祉協議会)のホームページ内にて、事業所向け自己評価及び保護者様向け自己評価表について公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は実施していません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価の実施に向けて、協議・検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年間通して、職員研修会を定期的実施し、職員の資質やスキルを上げることに努めています。 ・定期的に課題を職員から出し合い、研修を開催しています。 ・外部研修など定期的に案内をいただいています。 ・療育がある日々の中での研修はなかなかしにくいものの隙間時間に行っているが、inputしたものをoutputしていくにあたって、センターとして、外部に対して研修していけるだけのものになっていけているかという点はまだそこまで達していません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間通して、職員研修会を定期的実施し、職員の資質やスキルを上げることに努めています。また外部研修案内について、随時周知して研修の機会を確保しています。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとに、アセスメントを行い計画を見直している。 ・支援計画作成時期だけでなく、保護者様からの相談や園や相談員と連絡を取り、児発管を交え検討はタイムリーに行っています。 		

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等利用時には必ず療育手帳や診断書などが必要です。必要に応じて心理士からの話を含め試案検討しています。 ・今後、検査等も活かせるような工夫をしていきたいです。 ・知らないことばかりで積極的に先輩に聞く必要があります。 	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループチームで立案を作成しています。 ・リーダーを中心にそのメンバーで話し合い、決めています。決める際には、そのお子様がしたいといった内容も取り入れられるように考えています。 	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各月毎に固定化しないよう、順番を定めています。マンネリ化しないよう、毎月の課題を変え行っています。 ・先輩と意見を出し合い、より良いものにしていきます。 ・お子様がやりたいことも、尊重し、それらを活動に盛り込みながら行っています。 	・各クラスのリーダーを中心に、療育プログラムにおいて、職員間で毎回話し合いをして、工夫に努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の放デイでの活動だけでは、なかなか難しいところがあります。また、小学校1年生までの支援は短いです。 	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで協議し、お子様に合わせた計画を作成しています。 ・活動内容については、集団と個別を交えての活動が基本となっています。 	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ毎で取り組み、内容の調整を行っています。 ・欠かさず職員で連携を取り合っています。 	・療育活動前に必ず事前ミーティングを行い、支援内容や役割分担について話し合われています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	2		・療育活動後に必ず振り返りミーティングを行い、気付いた点や反省点や改善点等について話し合われています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・療育に記録だけでなく、園での様子、保護者様からの何気ない会話の中からあがった事項を記録に残すことは徹底しており、同時に懸案とされることについては早急に解決できるよう話し合いをしています。 ・電子化ができると、業務の負担が軽減するのではと思います。 	・日々の支援に関して記録をとることを、職員間で徹底しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が、療育記録を見て振り返りながら、モニタリングを行っています。 ・モニタリングは半年間という期間にこだわらず、変更の必要性があると思われる場合等タイムリーに行っています。 	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に見直しを行い、お子様に何が必要なのかを検討しています。 ・ガイドラインは定期的に見直す必要があります。 		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	3	・児童発達管理責任者を中心に、サービス担当者会議に出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	2	2	・保育所等訪問支援を保護者様からの依頼に基づき実施し、各学校と情報共有を行う等して連携を図っています。 ・学校関係との調整は行っていません。 保護者様から保育所等訪問事業の支援を通じて困り感については検討しています。 ・以前お子様が急に飛び出す等配慮が足りないことがありました。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	12	1	2	・お子様の状態に合わせて調整を行っています。 ・必要に応じて、医療機関と連携をとって支援しています。	・各関係機関と連携した支援を随時行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11	2	2	・センター内で、情報共有しています。	・各関係機関と連携した支援を随時行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11	0	4	・経験はないが、必要な場合は情報提供する準備はあります。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	1	2	・各事業所対象の療育研修会を実施しています。 ・職員の研修については積極的に参加してもらっています。 ・定期的に外部研修の内容を施設内でいただいています。	・三重県障害児通園施設等連絡協議会に参画し、他市の児童発達支援センターとの情報共有に努めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	8	3	・新型コロナの影響で、地域の園との交流保育が休止しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	4	4	・担当職員(第1・2代表職員)が自立支援協議会に定期的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	2	・保護者様、相談員と連絡を取り合い、お子様の今置かれている状況や状態から課題があれば検討し、全体で周知しています。 ・療育の中で感じたことを保護者様と共有しています。	・療育活動前の自由時間や療育活動後を用いて、保護者様とお子様に対しての情報共有についてコミュニケーションを図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	5	4	・以前ペアレントトレーニングの職員研修を行ったので、今後その知識を活かして行きたいです。	・保護者様向けペアレントトレーニングの実施に向け、ペアレントトレーニングをテーマとした職員研修を実施したり、担当職員中心に協議を進めています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	2	3		・児童発達支援管理責任者・事務員中心に、今後も保護者様の側に立って、一つ一つの項目を丁寧に説明していくことを心がけています。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	1	2	・相談を受けた時には適宜相談員にも連絡し、支援に当たるように努めています。 ・相談してもらいやすい環境・関係づくりが必要です。 ・保護者様からの相談体制について、相談窓口を含め改善する必要があります。	・保護者様が気軽に相談できる体制づくりに向けて、職員全体で協議し改善していきます。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	8	4	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会はしていないが、保護者様向けペアレントトレーニングの実施に向け、職員研修や協議されています。 ・放デイの保護者様向けペアレントトレーニングの実施等も含めて考えていきたいです。 ・保護者様の交流の場を積極的に作ることはできていません。お子様の送迎の際、保護者様が待つ時間が交流になっている様子は見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会はしていませんが、保護者様向けペアレントトレーニングの実施に向け、職員研修や協議されています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からの苦情があった際は、迅速に職員間で共有し、受け止め、苦情解決に努めています。 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(保護者様・ボランティア・関係者向け)を発行し、情報発信に努めています(年2回)。
	35	個人情報に十分注意している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関する書類は、鍵付きの棚保管を日々徹底しています。 ・デスクなどに個人情報を置かないよう個人だけではなく、全体で注意喚起しています。 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様や保護者様一人一人に合わせて対応を、各職員が心がけています。 ・今置かれているお子様の状態や気持ちを汲み取り、保護者様にお子様の代弁できるよう説明しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関する書類は、鍵付きの棚への保管を職員全員へ徹底しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で、地域向け行事(夕涼み会)を休止しています。 	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナのマニュアルが策定済みですが、緊急時対応マニュアル作成が必要です。 ・保護者様向けのメールにて周知をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対応マニュアル、災害時初期行動マニュアル等を策定し、職員へ周知しています。現在、センター含め法人全体のBCP(事業継続計画)策定中です。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回ということもあり、なかなか訓練を行っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回避難訓練(地震・火災想定)を実施しています。また、災害時の備蓄品(非常食・ヘルメット・ポータブル電源等)について定期的に購入しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修会を実施し、職員に対して啓発を促しました。 ・虐待防止委員会設置に向けて準備を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修会を実施し、職員に対して啓発を促しました。(8月31日) ・虐待防止委員会設置に向けて準備を進めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時において、契約及び重要事項説明を行っています。身体拘束の意味と支援計画への記載の意味が理解できていない状況です。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・食事をすることがないので、記録や保護者様からの聞き取りで確認しています。 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	2		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が療育中に事故やケガ等があった場合、ヒヤリハット・ケガ報告書を記入し、再発防止に努めています。